2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月４日

上 場 会 社 名　　株式会社東京精密　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7729　　URL https://www.accretech.com
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長ＣＥＯ　（氏名）木村　龍一
問合せ先責任者　（役職名）執行役員常務ＣＦＯ　（氏名）小泉　公人　TEL　042-642-1701

半期報告書提出予定日　2026年11月５日　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	92,399	19.9	20,341	38.2	21,146	41.2	15,489	61.1
2026年3月期中間期	77,070	7.9	14,717	9.8	14,978	13.8	9,612	△29.1

（注）包括利益　2027年3月期中間期 16,536 百万円(77.2%)　2026年3月期中間期 9,332 百万円(△34.2%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	381.62	379.36
2026年3月期中間期	237.18	235.55

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	263,909	203,285	76.3
2026年3月期	250,533	192,916	76.3

（参考）自己資本　2027年3月期中間期 201,347百万円　2026年3月期 191,035百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	111.00	—	151.00	262.00
2027年3月期	—	158.00			
2027年3月期(予想)			—	158.00	316.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	15.1	45,000	33.4	45,500	30.7	32,000	29.3	788.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	42,285,281株	2026年3月期	42,282,881株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	1,695,512株	2026年3月期	1,695,286株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	40,589,021株	2026年3月期中間期	40,527,355株

（注）当社は2025年3月期中間期より株式給付信託（BBT）を導入しており、期末自己株式数については、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2027年3月期中間期189,700株、2026年3月期 189,700株）が含まれています。また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式については当該信託が保有する当社株式(2027年3月期中間期189,700株)が含まれています。

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料「1.当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、全体的には成長基調を維持しながらも、エネルギー価格の上昇やインフレの加速が景気の圧迫要因となったほか、主要国の通商政策が各産業の動向に対する変動要因となりました。

米国を中心に生成AI関連需要の急拡大やデジタル・トランスフォーメーション(DX)投資が堅調に推移し、このようなテクノロジー部門の成長が当社の事業環境に強い追い風となりました。もっとも、一部の地域ではインフレの再燃懸念や金融引き締めの長期化が意識され、国や地域による景気のまだら模様が続くなど、先行きへの不透明感が残る状況も続きました。

このような環境下、当中間連結会計期間の受注高が半導体製造装置部門における生成AIを含むHPC(High Performance Computing)関連装置の需要の強さを主因に前年同期比で増進したほか、売上高も、生産能力の拡大や顧客の要求納期に沿った計画的な出荷により、前年同期比で増加しました。

その結果、当中間連結会計期間の連結業績は、受注高 1,389 億 60 百万円（前年同期比72.3 %増）、売上高は 923 億 99 百万円（前年同期比19.9 %増）となり、利益面では、営業利益 203 億 41 百万円（前年同期比38.2 %増）、経常利益 211 億 46 百万円（前年同期比41.2 %増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益 154 億 89 百万円（前年同期比61.1 %増）となりました。

当中間連結会計期間の事業別セグメントの状況は以下のとおりです。

Ａ．半導体製造装置部門

受注高は、検査装置であるプローバ需要が、生成AIを含むHPCや、HBM(High Bandwidth Memory)など高性能な半導体デバイス向け、半導体デバイスの生産能力の強化を進める中国向けなどを中心に極めて好調に推移したことにより、前年同期比でほぼ倍増となりました。

売上高は、出荷・据付計画自体は第2四半期にやや偏重する想定であったなか、これをほぼ計画通りに進め、前年同期比で増加しました。

この結果、当中間連結会計期間における当部門業績は、受注高 1,140 億 74 百万円（前年同期比86.0 %増）、売上高 726 億 45 百万円（前年同期比22.3 %増）、営業利益は 177 億 17 百万円（前年同期比43.7 %増）となりました。

Ｂ．計測機器部門

受注高は、ハイブリッド車生産に関連する追加投資に加え、AI向けデータセンタ関連(インフラ含む)や自働化省人化に向けたロボット関連需要も増加基調で推移したほか、外需を中心としたものづくり市場の回復による計測機器の全体的な景況感の拡大により、前年同期比で増加しました。

売上高は半導体製造装置部門と同様に第2四半期を中心に出荷・据付が順調に進んだことで、前年同期比で増加しました。

この結果、当中間連結会計期間の当部門業績は、受注高 248 億 86 百万円（前年同期比28.9 %増）、売上高 197 億 53 百万円（前年同期比11.9 %増）、営業利益 26 億 24 百万円（前年同期比9.9 %増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

【資産、負債及び純資産の状況】

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ 133 億 75 百万円増加し、2,639 億 9 百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加 161 億 45 百万円、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権の減少 46 億 47 百万円、製品、原材料、仕掛品などの棚卸資産の増加 21 億 2 百万円等です。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ 30 億 5 百万円増加し、606 億 23 百万円となりました。その主な要因は、契約負債の増加 46 億円、長期借入金の減少 25 億円等です。

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ 103 億 69 百万円増加し、2,032 億 85 百万円となりました。自己資本比率は、76.3 %となりました。

【当期のキャッシュ・フローの概況】

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 161 億 45 百万円増加し、 691 億 98 百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、 293 億 38 百万円の収入となりました。

これは主に税金等調整前中間純利益 212 億 75 百万円、契約負債の増加 45 億 80 百万円、売上債権の減少 41 億 71 百万円、法人税等の支払額 39 億 12 百万円、減価償却費 29 億 40 百万円、棚卸資産の増加 19 億 38 百万円、仕入債務の増加 14 億 59 百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、 48 億 27 百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 46 億 66 百万円、無形固定資産の取得による支出 2 億 91 百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、 87 億 97 百万円の支出となりました。

これは主に配当金の支払額 61 億 57 百万円、長期借入金の返済による支出 25 億円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中間連結会計期間の実績ならびに足許の事業環境、ならびに通期連結会計期間の見通しを総合的に勘案し、2026年8月4日に発表した当連結会計年度(2027年3月期)の通期業績予想を以下のとおり修正します。

今回の修正では、半導体製造装置部門で売上高予想を上方修正、これに伴い各利益予想を上方修正しております。

2027年3月期通期業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）(2026年8月4日発表)	189,000	44,000	44,000	30,800	758.83
今回修正予想（B）	192,000	45,000	45,500	32,000	788.38
増減額（B － A）	3,000	1,000	1,500	1,200	―
増減率	1.6%	2.3%	3.4%	3.9%	―
前年実績(2026年3月期通期)	166,839	33,738	34,825	24,739	610.02

(注)業績見通し等の将来に関する記述は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益は、記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,073	69,219
受取手形、売掛金及び契約資産	42,524	37,927
電子記録債権	5,353	5,302
商品及び製品	3,416	3,566
仕掛品	40,373	43,213
原材料及び貯蔵品	24,232	23,344
その他	5,717	3,169
貸倒引当金	△83	△63
流動資産合計	174,607	185,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,982	34,818
その他（純額）	24,963	27,488
有形固定資産合計	59,946	62,307
無形固定資産		
のれん	183	165
その他	3,005	2,809
無形固定資産合計	3,189	2,974
投資その他の資産		
その他	12,790	12,946
投資その他の資産合計	12,790	12,946
固定資産合計	75,925	78,228
資産合計	250,533	263,909

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,085	9,836
電子記録債務	8,443	9,061
短期借入金	1,300	1,300
1年内返済予定の長期借入金	5,000	5,000
未払法人税等	4,054	5,646
契約負債	6,486	11,087
賞与引当金	3,453	4,409
製品不具合対策引当金	1,688	1,342
その他	8,366	5,459
流動負債合計	47,879	53,144
固定負債		
長期借入金	8,000	5,500
役員退職慰労引当金	64	41
退職給付に係る負債	782	814
資産除去債務	105	106
その他	784	1,016
固定負債合計	9,737	7,478
負債合計	57,617	60,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,748	11,753
資本剰余金	23,336	23,331
利益剰余金	156,094	165,426
自己株式	△8,362	△8,366
株主資本合計	182,816	192,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,534	1,971
為替換算調整勘定	5,209	5,886
退職給付に係る調整累計額	1,475	1,346
その他の包括利益累計額合計	8,218	9,203
新株予約権	662	657
非支配株主持分	1,218	1,280
純資産合計	192,916	203,285
負債純資産合計	250,533	263,909

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	77,070	92,399
売上原価	45,880	52,895
売上総利益	31,190	39,503
販売費及び一般管理費	16,473	19,161
営業利益	14,717	20,341
営業外収益		
受取利息	19	56
受取配当金	58	53
為替差益	156	340
投資事業組合運用益	－	49
補助金収入	87	284
受取補償金	16	14
その他	104	164
営業外収益合計	443	962
営業外費用		
支払利息	121	132
固定資産除売却損	1	1
その他	59	23
営業外費用合計	182	157
経常利益	14,978	21,146
特別利益		
新株予約権戻入益	3	3
投資有価証券売却益	85	126
特別利益合計	89	129
特別損失		
製品不具合対策費	2,103	－
特別損失合計	2,103	－
税金等調整前中間純利益	12,964	21,275
法人税、住民税及び事業税	3,330	5,273
法人税等調整額	△11	431
法人税等合計	3,318	5,704
中間純利益	9,646	15,570
非支配株主に帰属する中間純利益	33	81
親会社株主に帰属する中間純利益	9,612	15,489

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	9,646	15,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132	436
為替換算調整勘定	△273	657
退職給付に係る調整額	△172	△128
その他の包括利益合計	△313	965
中間包括利益	9,332	16,536
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	9,344	16,474
非支配株主に係る中間包括利益	△11	61

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	12,964	21,275
減価償却費	2,657	2,940
のれん償却額	24	20
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1	27
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5	△22
固定資産売却損益（△は益）	1	1
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1	△19
受取利息及び受取配当金	△78	△109
支払利息	121	132
補助金収入	△87	△284
受取補償金	△16	△14
投資事業組合運用損益（△は益）	－	△49
投資有価証券売却損益（△は益）	△85	△126
売上債権の増減額（△は増加）	3,009	4,171
棚卸資産の増減額（△は増加）	635	△1,938
仕入債務の増減額（△は減少）	△962	1,459
契約負債の増減額（△は減少）	7	4,580
製品不具合対策引当金の増減額（△は減少）	2,103	△345
その他	2,022	1,271
小計	22,326	32,971
利息及び配当金の受取額	78	109
利息の支払額	△119	△129
補助金の受取額	87	284
補償金の受取額	16	14
法人税等の支払額	△5,550	△3,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,837	29,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形固定資産の取得による支出	△6,707	△4,666
有形固定資産の売却による収入	14	1
無形固定資産の取得による支出	△278	△291
関係会社株式の取得による支出	△500	－
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	110	150
投資事業組合への出資による支出	△29	△77
投資事業組合からの分配による収入	52	73
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△8
敷金及び保証金の回収による収入	8	3
その他	－	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,337	△4,827

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,500	△2,500
リース債務の返済による支出	△373	△144
ストックオプションの行使による収入	28	8
自己株式の取得による支出	△1	△4
配当金の支払額	△5,652	△6,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,498	△8,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	△158	432
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	843	16,145
現金及び現金同等物の期首残高	54,516	53,052
現金及び現金同等物の中間期末残高	55,359	69,198

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（セグメント情報等）
前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	半導体製造装置	計測機器	
売上高			
外部顧客への売上高	59,413	17,657	77,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	59,413	17,657	77,070
セグメント利益	12,329	2,388	14,717

(注)セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	半導体製造装置	計測機器	
売上高			
外部顧客への売上高	72,645	19,753	92,399
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	72,645	19,753	92,399
セグメント利益	17,717	2,624	20,341

(注)セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。